



拾い集めたごみを分別する高校生たち。新庄市内3
高校の有志が合同でごみ拾いに取り組んだ

|| 新庄市・金沢公園

新庄 高校生がごみ拾い

街中ピカピカに

県立3校合同、ボランティア活動

新庄北、新庄南、新庄神室産業の新庄市内3高校の生徒約80人が11日、市内をきれいにしようとしごみ拾いを展開した。3校の生徒会長が連携し、学校の枠を超えた清掃ボランティアに汗を流した。

同市の高校生ボランティアサークル「しずく」で活動し、それぞれ生徒会長を務める新庄北3年安食希美さん(17)と新庄南3年須貝ひなたさん(17)が中心になり企画。安食さんが発案し、知人を介して神室産生徒会長の高橋真海さん(17)にも協力を呼び掛け、県立3校合同の活動に発展した。

当初はしずくのメンバー約20人と各校10人ずつ程度を見込んだが、当日は予想を上回る約80人が参加した。生徒たちは3〜5人の班に分かれ、集合場所の県立新庄病院近くの金沢公園からそれぞれの校舎を往復し道端の空き缶やペットボトル、破れたビニール傘、たばこの吸い殻などを拾い集めた。各自が1時間から1時間半かけて拾ったごみの総量は約32kgだった。

新型コロナウイルス感染症対策としてマスク、軍手の着用、トンクの使用などを徹底した。安食さんは「久々に再会した友達もい変だった達成感がある」と声を弾ませた。

(佐々木亨)